



国際ロータリー第2600地区
上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

R.I.会長 シェカール・メータ
国際ロータリー第2600地区 ガバナー 桑澤 一郎

Rotary
Club of Ueda



2021-22年度
上田ロータリークラブ

- 会長 米津 仁志
- 副会長 金子 良夫・湯田 勝己
- 幹事 柳澤 雄次郎
- 会報委員長 田邊 利江子

第2850回例会 (令和3年11月15日)



ホームページQR

【会長挨拶】

米津仁志 会長

みなさん、こんにちは～急に
冷え込んできましたね。

新型コロナウイルス感染症の
新規感染者数は11月12日現在、
人口10万人当たり、長野県全体
では0.34人、上田圏域は0人であり、良い状態を維持
しております。ちなみに東京は1人、一番悪い大阪でも
3人です。海外が悪化しているというニュースがあり
ますが、直近のデータから計算しますと、アメリカが
24人、ドイツが45人、オランダが77人です。

先週は友好クラブである東近江ロータリークラブの
7名のみなさまに当クラブの創立記念夜間例会にご来訪
いただき、有意義な時間を過ごすことが出来ました。
会員のみなさま、とりわけ内河委員長を始めとする親睦
委員会のみなさま、役員、理事のみなさまのご尽力に
感謝を申し上げます。途中、想定外の事象も起こりまし
たが、柳澤幹事の活躍により、うまく収めることが出来
たのではないかと思います。組織同士の交流ということで、
意思がよく伝わらず、探り合うことで、やりすぎになっ
てしまうこともあり、それによる弊害があることも聞いて
おります。お互いに率直な意見の交換を進めていった
ほうがいいのではないかと感じました。「親睦と相互
理解を促進し、ロータリーの奉仕の理想に寄与する」
という交流の目的を忘れないようにしたいと思います。

さて、恒例のドラッカーの言葉をご紹介します。前回は
「目標」の立て方についてご紹介し、そのなかでも社会的
責任の目標についてご説明しました。

今回は「目標」のうち「必要条件としての利益」について
をご紹介します。

ドラッカーによると、目標は次の八つの領域において
必要とされます。

- (1)マーケティング
- (2)イノベーション
- (3)人的資源
- (4)資金
- (5)物的資源
- (6)生産性
- (7)社会的責任
- (8)必要条件としての利益

以下は「必要条件としての利益」についての文章です。

“利益とは企業存続の条件である。利益とは、未来の
費用、事業を続けるための費用である。諸々の目標を
実現するうえで必要な利益をあげている企業は、存続の
手段をもっている企業である。諸々の目標を実現する
うえで必要な利益に欠ける企業は、限界的な危うい企業
である。

それら七つの領域における目標達成に必要な利益とは、
企業がその社会的かつ経済的機能を果たすうえで必要
とする利益でもある。(1)事業の継続に伴うリスクを
カバーする。(2)雇用を創出する。(3)イノベーション
を行い経済発展の担い手となる。

もちろん利益計画の作成は必要である。しかしそれは、
無意味な常套語となっている利潤極大化についての計画

ではなく、利益の必要額についての計画でなければならない。ただしその必要額は、多くの企業が実際にあげている利益はもちろん、その目標としている極大額をも大きく上回ることを知らなければならない。”

『マネジメント(上)』p148より引用

当然のことですが、上場している企業は株主を見ているから、利益額を経営の目標に組み込んでいます。企業が利益を目標にして何が悪い！と思われる方も多いでしょう。

日本の中小企業は株主と経営者が同じであることがほとんどで、その場合、経営者が株主の顔色を窺うということがありません。「顧客の創造」のために自由に経営ができます。だから日本の中小企業はドラッカーと親和性が高いのです。

ドラッカーに言わせれば、利益の最大化を目標にしてはいけないのです。「利益は企業存続の条件である」ということになります。この言葉もドラッカーの言葉として大変有名です。

企業存続の条件とは八つの目標のうち「必要条件としての利益」を除く七つの目標を達成するために必要な経費を確保するための利益ということになります。利益は最大化することを目標にするのではなく、必要額を確保する目標を立てるということになります。

それなら少しでも利益があればいいのか？ということになりますが、引用しました文章にありますように、その金額は一般に考えられている金額よりもずっと大きなものであるということです。ドラッカーは、具体的な金額や売上高に対する比率は示していませんが、(1)～(7)を達成するために必要な金額と言え、どの企業にとっても想像以上に大きな額になることがお分かりかと思いますが。

みなさまお身体ご自愛くださいませ。ありがとうございました。

[委員会報告]

親睦活動・家族委員会 内河利夫 委員長

●東近江RC来訪時のご協力の御礼

●11月14日

第2回ホームゴルフコンペの結果報告について

●3月13日

丸子RCクラブ合同ゴルフコンペの予定について



- 4月開催 6クラブ合同ゴルフコンペの予定について
- 12月20日 クリスマス例会の出欠席、オークションの品物について連絡がありました。

[ロータリー財団について]

ロータリー財団委員会 河田 純 委員長

11月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団の補助金についての説明と寄付について話をされました。



寄付については、現在上田

RCは、ポール・ハリス・フェローは117名寄付、マルチプル・ポール・ハリス・フェローは29名寄付しています。鈴木哲さんは、14回目最多の寄付をしていただいております。

今年度は2名の方をお願いをします。

[新入会員卓話]

小林俊明さん

入社4年半 外様の挑戦！



恩田金属工業株式会社

「CO₂削減への取組み」

当社は金属プレス加工を主業務としている企業で、今日はその当社が行ったCO₂削減への取組みについてお話しします。



まず取組みのきっかけですが、私が入社して1年が経過した頃、何とか利益を拡大したいと思いました。

それには幾つか手段・方法はありますが、社員の全員が取組めるものが良いと考え固定費の削減を選びました。

人件費を除いた固定費の中で何を削減するかですが、減価償却費や修繕費など色々ある中、削減できるのは電力だけだったので、目標を電力費の削減とし、現状比20%減を目指しました。

さて、この目標を達成するには効果のある対策の立案が

重要ですが、自社だけでは立案は困難でコンサルティングが必要と考えました。

そこでインターネットで調べた環境省の事業に申請し、採択されたのがCO₂削減ポテンシャル診断と中小企業の対策行動の可視化モデル事業の2つです。

先ずCO₂ポテンシャル診断ですが、これは環境省の認定診断機関が現状を調査して、効果のある対策を検討・立案してくれるもので、調査費用は110万円と非常に高額ですが、全て環境省の補助金で賄えるので、当社が実際に支払ったのは消費税の8万8千円だけでした。

また、この診断を受けると診断機関が策定した対策で10%以上のCO₂削減が見込めると対策費用の1/2を補助金で賄えます。

さて、その診断結果ですが当社の場合、用途別CO₂排出量の割合ではコンプレッサと空調で使用電力の約70%を占めています。

これは共に機器が古いからで、これらの機器を更新することが絶対条件になり、その費用の一部が賄える補助金が欲しい所です。

そこで、診断機関が算出したそれらの機器を更新したときのCO₂排出量削減率ですが、空調・コンプレッサを更新、更に照明のLED化を実施した場合、削減率は17.8%と補助金の対象となる10%以上は満足しました。

しかしポテンシャル診断を実施した事業所は多数で、削減率の高い事業所から採択されるので、実際には25%以上ないと採択はされないと診断機関に提言されました。

補助金が出ないということで設備の更新は諦めましたが、それではということで設備更新なしで取組んだのが、コンプレッサに絡む内容では圧力配管の漏れ箇所をシールする、吐出圧を下げるなどで、空調に絡んだ内容では室外機に遮光カーテンを設置するです。

何れも消費電力を削減する対策となっています。

これら対策の効果は確実に出ており、2020年は2018年に比べ年間で12%使用電力を削減することができました。

もし設備更新を実施していれば、確実に目標の20%を超えていたと思います。

これでCO₂削減の取組みは一旦終了と考えていましたが……

こうした当社の真摯に取り組む姿勢が評価されたのか、昨年11月にCO₂ポテンシャル診断時のアドバイザーだった省エネルギーセンターから、新たな環境省の事業に参加するよう要請がありました。

それがCO₂削減対策行動の可視化モデルです。また、この時期の菅首相、小池都知事の宣言が引き上げとなって、会社のイメージアップになり新たな顧客・仕事が獲得できると社員を説得し、要請を受けることにしました。

目標は2030年までに2019年度比CO₂を20%削減するとしました。

作成した2030年までのロードマップで、今期は計画通りコンプレッサと空調機2台を更新し、来期2022年度は更に2台の空調機を更新、そして2023年度から太陽光パネルの設置を始める予定です。

予想ではコンプレッサと空調の更新で20%削減でき、太陽光発電で50%削減、残りは再生エネを購入し、2030年には使用電力の100%再生エネ化を目指します。

[幹事報告]

柳澤雄次郎 幹事

1. RI the rotarian 11月

2. 地区事務所

2021-22年度国際ロータリー
ゾーン1 A, 2, 3

第50回ロータリー研究会
記念講演会オンライン視聴のご案内

3. 信州民報 上田RCが甘露保育園、蓮の音こども園
にコロナ感染対策の除菌清掃用品等寄贈

4. 東信ジャーナル

上田RCが甘露保育園、蓮の音こども園へ非接触型
検温器等寄贈

5. 東近江RC お礼状

6. 上田青年会議所 2021年度一般社団法人上田青年会
議所「年忘れの宴」のご案内

7. 小さな親切運動本部 小さな親切 秋号

8. 例会変更 丸子RC 11月18日(木) 定受なし
25日(木) 定受なし

12月16日(木) 定受なし

23日(木) 定受なし

30日(木) 定受なし

上田東RC 11月24日(木) 定受なし

12月29日(木) 定受なし

15日(木) 定受あり



上田六文銭 R C 11月23日(火) 定受なし

30日(火) 定受なし

9. 会報恵送 飯田南 R C、松本西南 R C、東御 R C

[ニコニコBOX]

櫻井雅文 委員長

石井懋人さん 石田真人さん
伊藤典夫さん 上島孝雄さん
北村修一さん 桑原茂実さん
小池文彦さん 小林俊明さん
小山宏幸さん 斉藤達也さん



酒巻弘さん 関啓治さん 滝沢秀一さん 田中健一さん
土屋勝浩さん 成澤厚さん 南部広樹さん 林秀樹さん
丸山正一さん 三井英和さん 矢島康夫さん 柳澤雄次郎さん
湯田勝己さん 横沢泰男さん 米津仁志さん
櫻井雅文さん 中村邦彦さん 滋野真さん

本日喜投額 28名 ￥ 35,000

累計 ￥810,500

[例会の記録]

司 会：南部広樹 委員

斉 唱：ロータリーソング「それでそこロータリー」

●会長挨拶

●幹事報告

●親睦活動・家族委員会報告 内河利夫 委員長

●ロータリー財団について 河田 純 委員長

●新入会員卓話 小林俊明さん



[ラッキー賞]

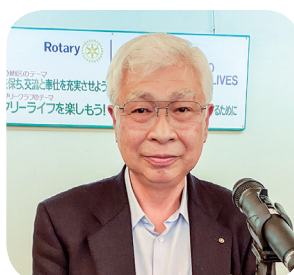
横沢泰男さん(米津会長から、ささやのローストチキン)

田中健一さん(柳澤日出男さんから、群馬 水沢うどん)

滋野 真さん

(金子良夫さんから、長岡 小島屋総本店のへぎそば)

滝沢秀一さん(金子良夫さんから、浜松 うなぎパイ)



[出席報告]

南部広樹 委員



	本日	前々回 (11/1)
会 員 数	59	59
出席ベース	53	53
出席者数	46	43
出席免除(b) ()内は出席者数	11(5)	11(5)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内は Make up 後		3(46)
出席率	86.79	86.79

[次回例会予定]

12月6日(月) 慶祝

新入会員卓話(比田井美恵さん)

(11月29発行)

【会報担当】 田邊利江子 委員長

第2回 ホームゴルフコンペ

令和3年11月14日(日)

立科ゴルフクラブにて開催
しました。

●参加者：12名

